

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム陽だまりの園	評価対象年度	令和元年度(平成31年度)
事業者名	・事業者名 社会福祉法人照陽会 ・代表者名 理事長 高橋 照比古 ・住所 川崎市多摩区栗谷2-16-6	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 50人) 在籍者数 47人(令和2年3月31日現在:入院等不在者を含む)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
	利用者数	1	5	12	15	14	0	47
	②通所介護事業(通所定員 34人/日) 年間延べ利用者数 3,070人:定員に対する稼働率 40%							
	延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		290	305	238	266	241	242	
	延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		269	266	224	240	248	241	
	③短期入所事業(入所定員 10人) 年間延べ利用者数 1,222人:定員に対する稼働率 33.4%							
	延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	66	84	69	117	133	143		
延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	132	84	109	104	84	97		
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成31年3月分)								
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
管理者数	0	0	0	0	0	0	0	

収支実績	①特別養護老人ホーム事業 (収入)		※通所介護事業・短期入所事業 昨年度計上していた他会計区分繰入分は含まない (支出) (単位:円)		
	介護料収入	157,873,705	人件費	120,882,860	
	利用者等利用料収入	42,917,229	事業費	26,579,532	
	その他の事業収入	6,482,564	事務費	11,130,647	
	合計	207,273,498	合計	158,593,039	
			(収支差額)		48,680,459
	②通所介護事業 (収入)		(支出)		
	介護料収入	23,924,567	人件費	23,916,428	
	利用者等利用料収入	2,429,498	事業費	6,802,342	
	その他の事業収入	588	事務費	1,296,258	
合計	26,354,653	合計	32,015,028		
		(収支差額)		▲ 5,660,375	
③短期入所事業 (収入)		(支出)			
介護料収入	10,921,667	人件費	23,789,247		
利用者等利用料収入	3,306,766	事業費	5,485,033		
その他の事業収入	101	事務費	1,826,426		
合計	14,228,534	合計	31,100,706		
		(収支差額)		▲ 16,872,172	
④居宅介護支援事業 (収入)		(支出)			
介護料収入	0	人件費	0		
利用者等利用料収入	0	事業費	0		
その他の事業収入	24	事務費	432		
合計	24	合計	432		
		(収支差額)		▲ 408	
(収入)		(支出)			
介護料収入	192,719,939	人件費	168,588,535		
利用者等利用料収入	48,653,493	事業費	38,866,907		
その他の事業収入	6,483,277	事務費	14,253,763		
合計	247,856,709	合計	221,709,205		
		(収支差額)		26,147,504	

サービス向上の取組	<p>○感染症予防対策を状況に応じて随時徹底し、あらゆる対策をたてて外部にも状況を発信していくことで、利用者の健康維持に努めた。</p> <p>○かわさき健幸福寿プロジェクトに入所者全員で参加した。利用者の希望に沿ったサービスを心掛けた。</p> <p>○個々のリハビリについては、個人のADLを把握し、個人レベルにあわせて楽しみながら身体を動かせるように援助し、残存機能の維持・向上に努めた。</p> <p>○地域交流スペースについて、サービス提供時間以外を開放するなど、その活用方法、取組について関係機関と連携、近隣の町会の方々とも活発に意見交換を行いながら地域との良好な関係構築、地域貢献に取り組んでいる。</p>
-----------	--

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8	
感染症への対策は適切に行われているか						
(評価の理由)						
<p>利用者とのコミュニケーションを多く図ることにより、心身の状況把握、疾病の早期発見ができるように努力した。また褥瘡発生時は、速やかに治療を開始することで悪化予防に努めた。</p> <p>介護サービス情報公開については、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護事業所の3事業について情報公開をした。ホームページにて、決算報告書の開示をおこない、施設行事の様子をブログにて更新している。</p> <p>引き続き、実習生、職業・福祉体験、ボランティアの受入れを行った。継続的に地域交流を行い、地域の皆様と顔が見える関係創りに取り組んだ。</p> <p>台風19号により近隣の下水、河川の氾濫などで環境汚染の危険があるため10月より通勤時はマスクを着用するようにし、その後もインフルエンザ予防としても必要のため継続した。施設内環境の感染対策としてクロール水での清掃・消毒を強化した。浸水被害の際には、入浴場所の開放及び消毒液配布を行った。</p> <p>感染症対策(インフルエンザ感染予防、新型コロナウイルス感染予防)として、複数人数での面会、小学生以下の面会の制限、ショートステイ利用者の検温の強化、デイサービスフロアにおけるビニールシートでの仕切りの設置やデイサービス利用者専用出入口を設置する等、対策を徹底しており、インフルエンザ、新型コロナ感染者は発生していない。</p>						
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか						
(評価の理由)						
<p>特養において、派遣職員を雇い入れずに運営できるようになったことで人件費の削減ができています。また、職員の確保・定着により加算取得の体制が整い、重度の認知症の方の受け入れを積極的に行っている。例年、看取り加算は算定していないが、看護師の体制整備により、看取りを行っている。</p> <p>修繕工事において、少しでも安価で実行できるように、多数の市内業者に積極的に見積もり合わせをすることで経費削減に取り組んだ。それらの努力で、収入は前年度より下がっているが、経費が大幅に下がっていることで、収支差額が上がっている。</p> <p>利用料収入については、事業ごとに口座振替としている。預り金は、身元引受人が面会時に現金で持参され、現金と引き換えに預かり証を発行している。複数人で関わることで、金種確認をとり内部牽制に努めた。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
			業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8	
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)						
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか						
(評価の理由)						
<p>かわさき健幸福寿プロジェクトに入所者44名全員が参加し、うち5名が金賞を受賞した(銀賞19名、銅賞20名)。参加したことで、職員間の連携の大切さとご家族等への説明の仕方や接し方もよい方向へ変化した。</p> <p>サービス向上のため、利用者のニーズに合わせた柔軟な対応を常に求められており、各セッション会議・委員会会議・部会会議を元に、運営会議で最終検討された内容が職員全体会で周知徹底されている。</p> <p>前年に引き続き、かながわライフサポート事業の活動(要支援者に対する総合的な生活相談支援を行う事業)、SOSかわさき事業(市内各相談機関をはじめとする社会資源とも連携を図りながら、生活課題に取り組んでいくネットワーク型事業)に積極的に参加。社会福祉法人の使命であることから各関係機関と連携を図りながら問題解決に向けて活動している。また、緊急で受け入れが難しい方に関しても、職員体制が整っていることから積極的に対応をした。</p> <p>意見等の収集をするため、サービスごとに常設の窓口(連絡先)及び担当者を設置し、利用者からの苦情を処理するために講ずる措置の概要を施設内に掲示をしている。施設内に意見箱を設置、家族懇談会(特養)を開催するなどして、意見・要望等を伝えやすい環境を作った。</p>						

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>特別養護老人ホームにて看取りの対応ができるよう介護・看護職員の加配をしている。専門職、介護職の離職にも、職員が補充できる体制を整えており、職員の確保、働きやすい環境作りに努力している。</p> <p>職員のスキルアップに向けた取り組みとして、新人職員研修プログラムの再構築や介護技術ステップアップをはかるトランス委員会、排泄委員会、給食委員会においてディスカッションを活発に行うことで、利用者のニーズに合わせた柔軟な対応を常に心がけている。また、今年度は特に身体拘束等の適正化に向けた対策を検討する委員会の充実をはかり、施設内研修を4回行った。また、職員全員に資料を配布し、復命書を提出してもらうことにより、職員の理解度・成熟度の把握に繋がった。</p> <p>モチベーションアップの取組みとして、子育て中の女性職員が働きやすいように配慮していること、法人として、継続勤務の職員が精励し優良な勤務の場合には、都度審査のうえ表彰している。</p> <p>安全・安心への取組みとして、緊急対応マニュアルに基づいた迅速な連絡体制を整備するとともに、事故が発生した場合には、事故報告書を作成し、事故防止委員会を開催した。発生原因の究明を行い、再発防止策を立て周知するとともに、再発防止策は複数の対策を立てることにより、事故をより少なく、かつ大事故にならないよう努めた。前年度に比べ減少している。</p> <p>個人情報保護に関する基本方針を文書にし、施設内に掲示。個人情報保護の取組みとして、他の媒体にパスワードを管理、保管し、書類はシュレッダー処理を徹底した。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>介護システムの電子化を進め、業務日誌・点検記録・修繕履歴が閲覧できるよう各職員にIDを発行し、より細かな情報の共有を図っている。</p> <p>施設内外の警備については、専門員を配置し警備の強化を行っている。外構の植栽については、利用者家族の協力も経て清潔な環境の維持に努めている。</p> <p>備品の適正管理、消耗品の補充等については、品目ごとに担当者を明確にし、無駄のない発注に努め、使用方法についても週間、月間ペースで検討しながら適切に行っている。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	76	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>今年度は、台風や感染症が猛威を振るう中、感染症対策を徹底し、今までと同様に地域や関係機関との連携強化を図りながら利用者・家族の支援と共に近隣の住民への支援も行い、社会福祉法人としての使命を十分に果たしている。</p> <p>利用者全員で参加したかわさき健幸福寿プロジェクトでは施設が一丸となって取り組むことで、利用者の自信と職員のモチベーションアップにも繋がっている。</p> <p>今後も社会的要請にも応えるべく地域の方々、利用者、利用者家族のニーズの把握にも努め、地域包括ケアシステムの構築が推進される取組みに期待する。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
---------